News Release

2026 年 11 月 6 日

BASF、南京江北新区と投資協定を締結し、電子材料の新たな生産拠点を設立へ

- **中国における半導体材料の生産能力を拡大**
- **現地生産、技術的な専門知識、お客様との協業を通じて、中国の半導体産業の成長を支援**
- **「現地生産・現地供給」の方針により、サプライチェーンの強靭性とお客様への支援体制を強化**

中国・南京、2026 年 11 月 3 日 – BASF（本社：ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン）は、南京江北新区と投資協定を締結し、南京江北新材料科技園に電子材料の新たな生産拠点を設立します。今回の投資は、現地生産、技術的な専門知識、安定供給を通じて、成長を続ける中国の半導体産業の発展を支援するという BASF の取り組みを、一層強化するものです。

BASF グローバル電子材料事業 シニア・バイスプレジデント兼事業責任者のイェンス・リーバーマンは、次のように述べています。「今回の投資を通じて、現地での生産体制を強化することで、お客様への支援を一層充実させるとともに、中国の半導体産業の継続的な発展に貢献していきます」

また、BASF グローバル事業本部 プレジデントのゴプス・ピレイは、次のように述べています。「今回の投資は、BASF の『現地生産・現地供給』戦略における、新たな重要な節目となるものです。南京で BASF がすでに築いている強固な事業基盤を生かし、当社の

お問い合わせ：
BASF ジャパン株式会社
コミュニケーションズ部
communications-jp@basf.com

BASF ジャパン株式会社
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 3-4-4
OVOL 日本橋ビル 3 階
www.basf.com/jp

生産、サプライチェーン、技術支援の体制をさらに強化することで、この地域のお客様に、より充実したサービスを提供できるようになります」

2028 年末までの稼働開始を予定している新拠点は、半導体バリューチェーン全体にわたるお客様やパートナーとの協業をさらに深める基盤としての役割も担います。現地の専門知識と協業を通じて、半導体技術の開発を加速します。

※これは BASF が 2026 年 11 月 3 日に中国・南京で発表した英語のプレスリリースを BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。
※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

■BASF の電子材料事業について

BASF の電子材料事業は、半導体、ディスプレイ、金属システムの各業界向けに、化学品、配合材料、プロセスソリューションを提供し、デジタル技術の進化を支えています。半導体業界から信頼される材料パートナーとして、化学に関する豊富な専門知識と半導体製造プロセスへの深い理解を生かし、半導体技術を支える高純度プロセス化学品と配合ソリューションを提供しています。当社の革新的なソリューションは、性能、品質、信頼性に関してますます厳しくなる要件に、お客様が対応できるよう支援しています。さらに、ディスプレイ用途向けの機能性材料とプロセス化学品、ならびに産業用および民生用の電気・電子（E&E）用途向けの特殊金属システムも提供しています。お客様との緊密な協業と強力な研究開発力を通じて、エレクトロニクスのバリューチェーン全体でイノベーションを推進しています。詳しい情報は https://electronics-electric.basf.com/global/en/electronics をご覧ください。

■BASF について

BASF（ビーエーエスエフ）は、ドイツ ルートヴィッヒスハーフェンに本社を置く総合化学会社です。私たちは、持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、経済的な成功とともに環境保護と社会的責任を追求しています。また、お客様のグリーントランスフォーメーションを可能にする、選ばれる化学会社になるという意欲的な目標を掲げています。全世界で約 95,000 人の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献しています。ポートフォリオは、コア事業の事業セグメント（ケミカル、マテリアル、インダストリアル・ソリューション、ニュートリション＆ケア）、スタンドアローン事業の事業セグメント（サーフェステクノロジー、アグロソリューション）から成ります。2025 年の BASF の売上高は約 600 億ユーロでした。BASF 株式はフランクフルト証券取引所（BAS）に上場しているほか、米国預託証券（BASFY）として取引されています。BASF の詳しい情報は www.basf.com をご覧ください。